

**三菱電機パッケージエアコン別売部品
静風圧部品**
取付説明書

送風機ブーリー：PAC-CC01SP～CC22SP, PAC-CB01SP～CB03SP
 電動機ブーリー：PAC-CC23MP～CC28・65MP, PAC-CB04MP～CB06MP
 V ベ ル ト：PAC-CC29VB～CC51VB, PAC-CC29VBX2～CC42VBX2
 PAC-CB07VBX2～CB16VBX2
 電動機セット：PAC-CJ60MR～CJ61MR

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般注意)



(一般禁止)



(接触禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)



(アース接続)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この取付説明書と共に本体ユニットの取扱説明書・据付工事説明書・保証書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第二種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

警告

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。
 ● 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。



電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする事。
 ● 漏電・発熱・火災のおそれあり。



第二種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。
 ● 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取付けること。
 ● 不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・火災のおそれあり。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。
 ● 接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。



移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。
 ● 不備がある場合、けが・冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。



異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る事。
 ● 異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電のおそれあり。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。



注意

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触らないこと。
 ● けがのおそれあり。



製品を水・液体などで洗わないこと。
 ● 感電・火災・故障のおそれあり。



パネルやガードを外したまま運転しないこと。
 ● 回転機器に触れると、巻きまれてけがのおそれあり。
 ● 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
 ● 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチを操作しないこと。
 ● 火災・感電のおそれあり。



20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。
 ● けがのおそれあり。



正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器<開閉器+B種ヒューズ>・配線用遮断器）を使用すること。
 ● 大きな容量のブレーカーを使用すると、故障・火災のおそれあり。



お願い

運転停止後、すぐに電源を切らないこと。
 ● 必ず5分以上待つこと。水漏れ・故障のおそれあり。

運転を開始する6時間以上前に電源を入れること。
 ● 故障のおそれあり。シーズン中は電源を切らないこと。

1. 部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

部品名	別売形名	仕様	個数
送風機プーリー	PAC-CC01SP	1B 165 -32	1
	PAC-CC02SP	1B 170 -32	1
	PAC-CC03SP	1B 180 -32	1
	PAC-CC04SP	1B 190 -32	1
	PAC-CC05SP	1B 200 -32	1
	PAC-CC06SP	1B 212 -32	1
	PAC-CC07SP	1B 224 -32	1
	PAC-CC08SP	1B 236 -32	1
	PAC-CC09SP	1B 250 -32	1
	PAC-CC10SP	1B 280 -32	1
	PAC-CC11SP	1B 300 -32	1
	PAC-CC12SP	1B 315 -32	1
	PAC-CC13SP	1B 355 -32	1
	PAC-CB01SP	2B 165 -32	1
	PAC-CC14SP	2B 170 -32	1
	PAC-CC15SP	2B 180 -32	1
	PAC-CC16SP	2B 190 -32	1
	PAC-CC17SP	2B 200 -32	1
	PAC-CC18SP	2B 212 -32	1
	PAC-CC19SP	2B 224 -32	1
	PAC-CB02SP	2B 236 -32	1
	PAC-CC20SP	2B 250 -32	1
	PAC-CC21SP	2B 280 -32	1
PAC-CC22SP	2B 300 -32	1	
PAC-CB03SP	2B 315 -32	1	
電動機プーリー	PAC-CC23MP	1B 125 -24	1
	PAC-CC24MP	1B 125 -28	1
	PAC-CC25MP	1B 145 -28	1
	PAC-CC26MP	2B 125 -28	1
	PAC-CB04MP	2B 145 -28	1
	PAC-CC27MP	2B 118 -38	1
	PAC-CC28MP	2B 125 -38	1
	PAC-CC65MP	2B 145 -38	1
	PAC-CB05MP	2B 155 -38	1
	PAC-CB06MP	2B 165 -38	1

(記号説明)

例 1B 165 -32…B形プーリー1本掛 PCφ165mm ポス径32mm
B35…B形ベルト ベルト長さ35インチ

部品名	別売形名	仕様	個数	
Vベルト	PAC-CC29VB	B35	1	
	PAC-CC30VB	B36	1	
	PAC-CC31VB	B37	1	
	PAC-CC32VB	B38	1	
	PAC-CC33VB	B39	1	
	PAC-CC34VB	B40	1	
	PAC-CC35VB	B41	1	
	PAC-CC36VB	B42	1	
	PAC-CC37VB	B43	1	
	PAC-CC38VB	B44	1	
	PAC-CC39VB	B45	1	
	PAC-CC40VB	B46	1	
	PAC-CC41VB	B47	1	
	PAC-CC42VB	B48	1	
	PAC-CC43VB	B49	1	
	PAC-CC44VB	B50	1	
	PAC-CC45VB	B51	1	
	PAC-CC46VB	B52	1	
	PAC-CC47VB	B53	1	
	PAC-CC48VB	B54	1	
	PAC-CC49VB	B55	1	
	PAC-CC50VB	B56	1	
	PAC-CC51VB	B57	1	
	PAC-CC29VBX2	B35	2	
	PAC-CC30VBX2	B36	2	
	PAC-CC31VBX2	B37	2	
	PAC-CC32VBX2	B38	2	
	PAC-CC33VBX2	B39	2	
	PAC-CC34VBX2	B40	2	
	PAC-CC35VBX2	B41	2	
	PAC-CC36VBX2	B42	2	
	PAC-CC37VBX2	B43	2	
	PAC-CC38VBX2	B44	2	
	PAC-CC39VBX2	B45	2	
	PAC-CC40VBX2	B46	2	
	PAC-CC41VBX2	B47	2	
	PAC-CC42VBX2	B48	2	
	PAC-CB07VBX2	B56	2	
	PAC-CB08VBX2	B57	2	
	PAC-CB09VBX2	B59	2	
	PAC-CB10VBX2	B60	2	
	PAC-CB11VBX2	B61	2	
	PAC-CB12VBX2	B62	2	
	PAC-CB13VBX2	B63	2	
	PAC-CB14VBX2	B64	2	
	PAC-CB15VBX2	B65	2	
	PAC-CB16VBX2	B66	2	
	電動機	PAC-CJ60MR	SF-JR 3.7kW-4P	1
		※	PAK-21JTH <15A>	1
		PAC-CJ61MR	SF-JR 5.5kW-4P	1
		※	PAK-26JTH <22.5A>	1

※ 標準仕様変更名板付

2. 取付要領

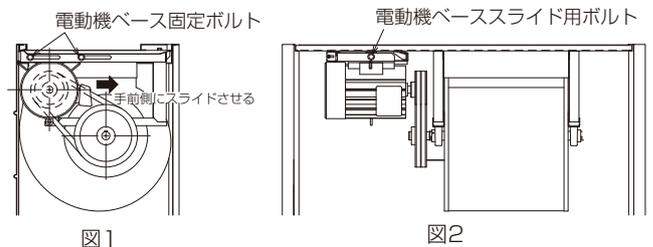
(1) 電動機の配置が上か下かを確認し、下記の取付要領にて作業を行ってください。

・取付完了後にシャフトとプーリーの未塗装部に防錆剤（推奨品：大日本塗料株式会社 COSMOREX#2000、日新インダストリー株式会社 スーパージंकもしくはローバル株式会社 エポローバル）を塗布してください。

電動機配置上

(1-1) 送風機プーリーおよび電動機プーリーの取付け

- ① 吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ② 電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図1、2
- ③ プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※ プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
- ④ 電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
- ⑤ 交換するプーリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥ 送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は表1・図3の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦ セットネジを締付けてください。（締付トルク：13.5N・m）
また、セットネジの外れ防止のため、ネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1322N相当品）
- ⑧ 取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



プーリー	平行度	K (分)	備考
铸铁製プーリー		10以下	輪間距離(A)1m当り プーリー間ずれ(B)3mmに相当

表1

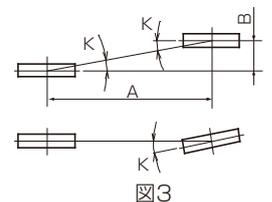


図3

(1-2) 電動機の取付け

- 電動機を取外す際は、落下しないように必ず2人作業で行ってください。
- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
 - ②電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めてVベルトを取外してください。…図1、2
 - ③プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーを取外してください。
※プーリーの径によっては電動機を後側へスライドする必要があります。
 - ④電動機ベースを手前側にスライドさせてください。
 - ⑤電動機ベースストッパー固定ネジを緩め、図4のようにしてください。
※機種によっては、ストッパー位置が異なります。
 - ⑥電動機を取外してください。(ボルト4本)
 - ⑦電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
 - ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

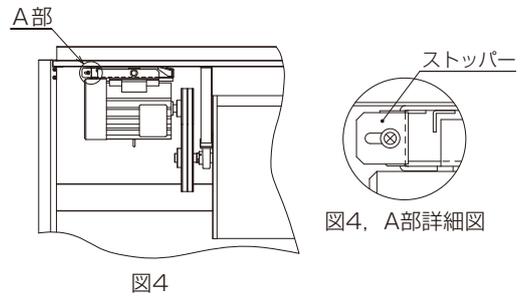


図4. A部詳細図

電動機配置下

(2-1) 送風機プーリーおよび電動機プーリーの取付け

- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー大・小を取外してください。…図5
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図6、7
- ④プーリーのセットネジを緩めて送風機プーリーおよびVベルトを取外してください。
- ⑤交換するプーリーおよびVベルトを取付けてください。
- ⑥送風機プーリーと電動機プーリーの平行度は、表1・図3の内容を満足するようにセットしてください。
- ⑦セットネジを締付けてください。(締付トルク：13.5N・m)
またセットネジの外れ防止のため、ネジロック(現地手配)をネジに塗布してください。
(ネジロック：ThreeBond 1322N相当品)
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

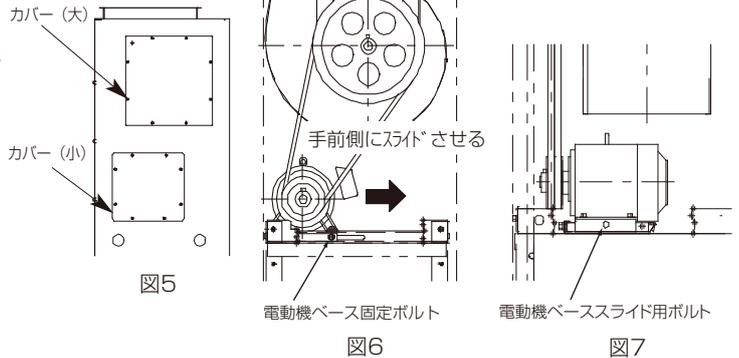


図5

電動機ベース固定ボルト

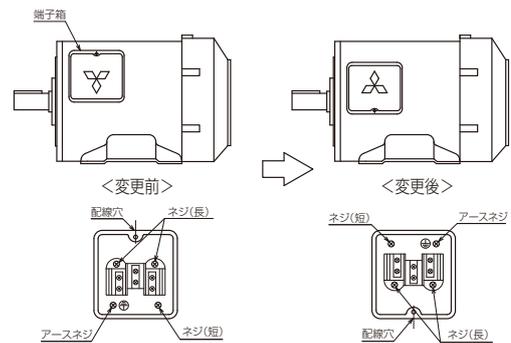
図6

電動機ベーススライド用ボルト

図7

(2-2) 電動機の取付け

- ①吸込パネル、前パネル上を取外してください。
- ②左側サイドパネルのカバー小を取外してください。(ネジ8本) …図5
- ③電動機ベース固定ボルトおよび電動機ベーススライド用ボルトを緩めて電動機を手前側にスライドさせてください。…図6、7
- ④Vベルトを外して、電動機を取外してください。(ボルト4本)
- ⑤別売電動機を取付ける前に、図8に従い、モーター端子箱を回転させてください。
- ⑥別売電動機を標準品のボルト・ナットを流用して交換してください。
- ⑦SF-JR5.5kW-4PIは電動機上部の吊ボルトを取外してください。
- ⑧取外しと逆の手順で部品を取付けてください。



モーターの端子箱カバーを外して端子箱取付ネジ(ネジ(短),ネジ(長),アースネジ)を外し、端子箱裏側のパッキンと共に180°回転させること。
※回転後ネジ止め時、各ネジの配置に注意すること。

図8

(2) 電動機交換の場合は制御箱内の電磁開閉器を交換

- ①制御箱のカバーを取外してください。…図9
- ②制御箱内にある電磁開閉器を取外し、電動機に付属のものとの交換してください。
(取付ネジは標準品のネジを流用してください)
この際、リード線締付ネジに緩みがないよう注意してください。
(主回路端子の締付トルク：PAK-21JTH…1.2~1.8N・m PAK-26JTH…2.4~3.5N・m)
(操作回路端子の締付トルク：0.93~1.2N・m)
- ③電動機に付属している標準仕様変更名板を定格名板の下に貼付けてください。
- ④取外しと逆の手順で部品を取付けてください。

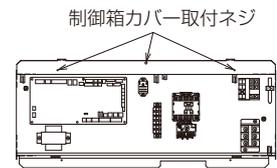


図9

3. 注意事項

Vベルトの張り具合について

- ①Vベルトの1本当たりの張力は、たわみ量Lの値を下式にて計算し、その時のたわみ荷重Wが図10・表2の範囲内になるようにセットしてください。
 $L=0.016 \times C$ C: プーリーの軸間距離 (mm)
- ②Vベルトがプーリーになじんだ後(運転後24~28時間後)、緩みがある場合には①および図10・表2の適正張りに調整するようにしてください。
- ③②の初期の調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。ベルトは初期伸び(約1%)を含め、ベルト周長が2%伸びた時点が寿命です。(運転時間で約5000時間)

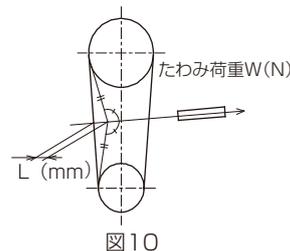


図10

Vベルトの種類	たわみ荷重	
	電動機プーリーのPCφ	たわみ荷重W(N)
B形	PCφ 118~125	22~33N
	PCφ 145	27~39N
	PCφ 165	29~42N

表2

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か
「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニット付属の別紙）に記載の
連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2022年3月作成
WT05101X05